

献血前にお読みください

献血前に

- お名前、生年月日、住所、電話番号等は正確にお答えください。
- ご本人の確認のため、運転免許証などの提示をお願いすることがあります。
- 問診項目には正確にお答えください。事実と異なる回答をされた場合、輸血を受けた患者さんに深刻な状況をもたらす場合があります。**
- 献血後に高所作業や激しいスポーツ、自動車の運転等をされる方は献血前にお知らせください。特に乗り物の運転をされる方は、献血後に十分な休憩（30分以上）を取っていただく必要があります。
- 副作用予防のため、献血前に水分（スポーツドリンク等）を補給してください。

献血時は

- 200mL・400mL献血では10分から15分位、成分献血では40分から90分位の採血時間がかかります。
- 血圧や血色素量（ヘモグロビン濃度）を事前に測定します。
- 採血針や採血バッグ等は、お一人ずつ使い捨てとなっています。
- 採血装置の不具合等により、採血が中断されたり、いただいた血液が輸血に使用できなくなることがあります。

献血に伴う副作用と注意

- 針を刺した時に、強い痛みがある場合や痛みがいつまでも続く場合は、すぐに職員にお知らせください。
- 採血中に気分不良やめまいを起こした場合は、すぐに職員にお知らせください。また、採血後に同様の症状を起こした場合は転倒を防止するために、すぐにしゃがむか横になってください。
- 皮下出血がある場合は、我慢せずに知らせください。
- 採血針を刺した箇所に針跡が残ることがあります。

献血していただいた血液は

- 検査を実施し、血液製剤の基準に適さないと判断した場合は輸血に使用しません。
- 血液の一部は少なくとも11年間冷凍保存し、輸血副作用・感染症などの調査のために使用します。